

◎フオイパン錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 カモスタットメシル酸塩 camostat mesilate 【分類】 蛋白分解酵素阻害剤

【単位】 ◎100mg/錠

【常用量】 ■慢性膵炎における急性症状の緩解：600mg/日 ■術後逆流性食道炎：300mg/日（胃液の逆流による術後逆流性食道炎には本剤の効果が期待できないので使用しない）

【用法】 1日3回

【透析患者への投与方法】 尿中への活性代謝物の排泄率が低いため、減量の必要はないと思われる（5）

【保存期腎不全患者への投与方法】 減量の必要なし（5）

【特徴】 非ペプチド系の蛋白分解酵素阻害剤でトリプシン、カリクレイン、プラスミン、トロンビンを中心とした幅広いスペクトラムを持つ。慢性膵炎の自覚症状を緩解する。また術後食道内に逆流する消化液中のトリプシンを阻害することにより術後逆流性食道炎の改善に効果が認められている。

【主な副作用・毒性】 ショック・アナフィラキシー様症状、血球減少、肝障害、高カリウム血症、消化器症状、浮腫、低血糖など

【F】 資料はないが、尿中回収率より20%以上（1）

【tmax】 40min（活性代謝物）（1）

【代謝】 活性代謝物 4-（4-グアニジノベンゾイルオキシ）フェニル酢酸（1）CYPに影響しない（1）

【排泄】 投与5～6時間後、活性代謝物 4-（4-グアニジノベンゾイルオキシ）フェニル酢酸の尿中排泄率は0.8%で、代謝物の4-グアニジノ安息香酸の尿中排泄率は20%でありその後はほとんど尿中には排泄されない（1）【CL】 活性代謝物 4-（4-グアニジノベンゾイルオキシ）フェニル酢酸の総クリアランス 6.4mL/min/kg、代謝物の4-グアニジノ安息香酸 4.7mL/min/kg（Xenobiotica 24: 79-92,1994）

【t1/2】 73min（1）活性代謝物 63min（1）活性代謝物 4-（4-グアニジノベンゾイルオキシ）フェニル酢酸 1hr、代謝物の4-グアニジノ安息香酸 2.4hr（Xenobiotica 24: 79-92,1994）

【蛋白結合率】 25.8～28.2%（1）

【Vd】 肝および腎に最も高濃度で分布する。効果器官の臓中濃度は血漿濃度よりも低い。活性代謝物 4-（4-グアニジノベンゾイルオキシ）フェニル酢酸 0.38L/kg、代謝物の4-グアニジノ安息香酸 1.0L/kg（Xenobiotica 24: 79-92,1994）データなし（1）

【MW】 494.52

【透析性】 データなし（1）透析されると思われる（5）

【TDMのポイント】 TDMの対象にはならない【O/W係数】 資料なし（1）

【備考】 胃液吸引、絶飲食を必要とする患者には投与しない。ステロイド依存性微小変化型ネフローゼに対し、グリチルリチン製剤との併用で尿蛋白陰性の寛解期を維持できたとの報告がある（Nephron 90:357-360,2002）

【更新日】 20121029

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる保証も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。